

その症状、**硫黄欠乏**かも！？

移植から30～40日後、田んぼにこんな症状ありませんか！？

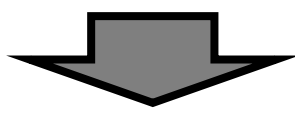
① 茎数が増えない

② 草丈が伸びない

③ 下の葉が黄化する

しばらくすると戻る場合も。

- ◆ 基肥はしっかり入っている
極端な減肥・肥料の入れ忘れがない
- ◆ 農薬による薬害は考えにくい
直前に農薬などは散布していない



生育不良の原因は
硫黄(S)欠乏
かもしれません！

硫黄(S)はチッソ(N)・リン酸(P)・カリ(K)と同じく植物の成長に欠かせない必須元素。Nと同様、タンパク質の原料に関わり、不足すると葉の黄化や生育不良の原因に。

おすすめ対策資材はコレ！

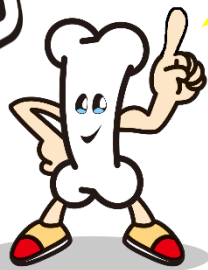
水田にも！しっかりCa&S補給！

畑のカルシウム

■ 畑のカルシウムの分析例(%)

カルシウム	水溶性カルシウム	硫黄	水分	pH
28.5	26.3	17.0	0.6	5.1

※水溶性カルシウムは、現物1gに水500mℓを加え抽出し測定。



畑のカルシウム施用により
症状が改善し、生育も良好に！



畑のカルシウム施用量 (kg/10a)

茨城県筑西市(2020) 当社調べ

【施用量目安】

2～3袋 (40～60kg) / 10a

【施用時期】

基肥(代掻き前) または 追肥(症状発生後速やかに)

※施用量は圃場条件により異なります。詳しいことはお近くのJAにお問合せ下さい。

水稻の硫黄欠乏による 初期生育抑制を回避！

全国で硫黄欠乏症による初期生育停滞及び黄化症が確認されています。

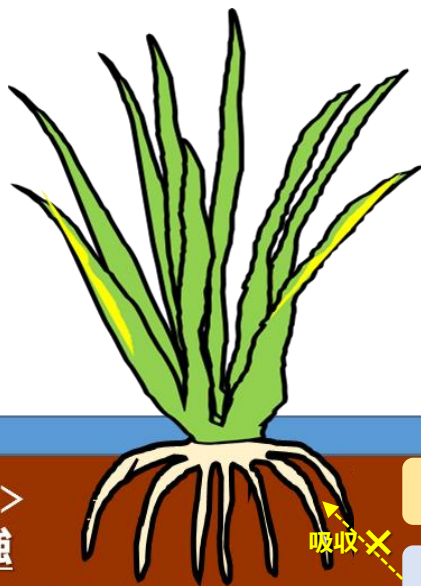
「畑のカルシウム」は「硫黄」も効率よく補給できる資材です。

硫黄を根から
吸収！



硫黄欠乏症状が発生する要因

土壌の還元による硫黄欠発生メカニズム



＜作土層＞
還元強

有機物(ワラ)などが分解

硫酸イオン
 SO_4^{2-}

↓

硫化物
 $FeS \cdot MnS$

吸収×

⇒ 生育が停滞・黄化

① 土壌中に含まれる硫黄が不足している

土壌中の可給態硫黄含量は土壌の種類によって異なり、黒ボク土に比べ鉬質土壌で硫黄含量が少ない傾向にあります。

② 肥料等からの硫黄の持ち込みが少ない

硫化水素の発生を回避するため、無硫酸根肥料を継続利用することで、作物が吸収するのに見合うだけの硫黄が供給されていない可能性があります。

③ 土壌中の硫黄の形態が不可給態になっている

未熟有機物(稲わらなど)の急激な分解に伴って土壌が還元状態となり、硫酸イオンが硫化物イオンに変化して、土壌中の鉄やマンガンに吸着されて作物に吸われない状態になっている場合があります。

(根が伸長すると、還元層を抜けて硫酸イオンを吸収できるようになり、葉色の回復が見られる場合もあります。)

水稻硫黄欠乏セルフチェック！

① 田植後10～20日後ごろに、畑のカルシウムを5株四方に対して100g程度散布。

② 散布した地点に棒などの目印になるものをつけておく。

③ 散布した場所の生育の状況を観察する。

★ 散布後10日ごとに生育状況を確認し、葉色が濃くなったり、茎数の増加が見られたら…

「硫黄欠乏発生の疑いあり！」

茎数が増えない・葉色が薄いなどの
初期生育不良が発生

定植10～20日後

畑のカルシウムを散布
目印の棒を設置

定植30～40日後

散布後10日～20日程度経過
葉色が濃くなり茎数が増加

➡ 硫黄欠の疑いあり！

ご自身の圃場での硫黄欠乏発生状況を観察し、正しく対策を行いましょう！